

八ヶ岳おろし厳しい日々ですがいかがお過ごしですか。SSH文系チームからSSH便り第6号の発行です。今回は、本校出身で2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した **大村 智 博士** とその受賞を記念して、先日本校に造られた **モニュメント** について掘り下げて行きます！皆さんは、先日完成したモニュメントをもう見ましたか？まだ見てないという人はぜひ見に行ってくださいね。それでは初めに、すでにご存知の方も多いたとは思いますが、改めて大村博士についてまとめてみました。

- 山梨県蕪崎市で5人兄妹の2番目、長男として生まれる。
- 地元の蕪崎高校へ進学、スキー部と卓球部の主将を務め、国体の選手に選出される。
- 山梨大学学芸学部自然科学科へ進学し卒業後、東京都立墨田工業高校定時制に5年間勤務。
- 山梨大学の工学部発酵生産学科の助手を経て、北里研究所に採用される。
- 微生物に関する研究を進め、土壌中にある微生物から寄生虫を駆除する有機化合物である「エバーメクチン」を発見。それを元に企業と共同で抗寄生虫薬「イベルメクチン」を開発した。
- 生涯にわたり170を超える新たな科学物質を発見。これらの功績により、2001年に日本学士院の会員に選定され、2012年には文化功労者に選ばれる。
- 2015年、ノーベル生理学・医学賞を受賞。文化勲章を受章
- 2016年 山梨県名誉県民 東京都名誉都民に選ばれる。



大村博士が発見したイベルメクチンは、失明を引き起こすアフリカの伝染病「オンコセルカ症」に効果があり、アフリカ、中南米に住む2億人の人々を病魔から守りました。またコロンビア、エクアドルではこの病の撲滅が宣言されました。私たちの先輩が多くの人の命を救い、ノーベル賞を受賞されるなんてとても誇らしいですね。数々の功績を挙げた大村博士ですが、先程出てきたイベルメクチンについてここで少し説明します。そもそもイベルメクチンとは回虫をはじめとする寄生虫の神経・筋肉細胞に作用するものです。どんな作用を起こすのでしょうか。イベルメクチンは寄生虫のような線形動物にある細胞膜の「**グルタミン酸作動性クロライドチャンネル**」に作用します。簡単に言うと「**イベルメクチンは寄生中の細胞を麻痺させて活動を止める**」ということです。

大村 智博士モニュメント除幕式

本校の卒業生で2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智博士の功績をたたえて本校にモニュメントができ、12月10日にモニュメントの除幕式が行われました。この12月10日は大村博士が二年前にノーベル賞を受賞した日です。当日の式典では同窓会長や内藤久夫蕪崎市長、在校生代表など180名が参加しました。そしてこのことは新聞やニュースなどにも取り上げられました。

なぜ前庭にできたのか？

そもそもなぜ前庭にできたのか。それは、前庭に置くことで蕪高生が朝夕目にすることができ、大村博士の「人の真似をしない」という独創性と「人の役に立つ」という社会貢献をめざした思いに触れ、仰ぎ見て志を高く持ってほしいという思いが込められているからです。またこのモニュメントには大村先生直筆で『創造開拓』と大きく書かれています。



このモニュメントの作者は？

このモニュメントを制作して下さったのは彫刻家で本校の卒業生である身延山大学特任教授の**柳本伊左雄さん**です。

ちなみに柳本さんは朋来館前にあるモニュメントも作ってくださっています。

このモニュメントにはどのような意味が込められているのか？

初めてこのモニュメントを見たときに、この形はなんだろうと感じた人は少なくないかもしれません。しかしこの形にも大きな意味があるのです。もしかすると気づいた人もいられるかもしれませんが、これは鳳凰山の地蔵岳山頂にある特徴的な岩（地蔵仏岩やオベリスクと呼ばれる）をモチーフに作られました。ちなみにこの特徴的な岩は本校からも見るすることができます。そして中央には大村博士のレリーフがあり、その下にステンレス版があり大村博士直筆の『**創造開拓**』の文字とこれまでの業績が刻まれており、その裏には受賞理由になった『イベルメクチン』の模型があります。両サイドの半円の部分は、蕪高生が世界に羽ばたくように、地球と翼をイメージしています。



地藏岳山頂

このように大村博士のモニュメントにはその功績をたたえるだけでなく、これからの蕪崎高校や社会を担っていく私たちへのメッセージも込められていたんですね。この想いを胸に刻み日々の学校生活に臨んでいきましょう。

(文責 2年6組 佐野良太 島倉凌 小林道)